

## わんサポミーティング議事録 [平成22年6月]

**ミーティングはドッグランの運営の仕方について意見交換する場です**  
**ミーティングには愛犬同伴でも出席できますので**  
**多数の会員の参加をお待ちしています**  
**会員はどなたでも参加は自由です**  
**今回は7月4日(日) 午前10時～午前12時**

### 1 開催日時・場所・出席者数

日時：平成22年6月6日(日) 10:00～12:00 場所：公園研修室 出席者：23名

### 2 「こどもの日フェア」のイベントの結果について

5月5日に行われた「こどもの日フェア」のイベントには、25名の会員がボランティアとして参加しました。各催し物の結果は以下の通りです。

- (1) ミニドッグランの利用者は、人192名、犬115頭で大好評でした。
- (2) わんわん大行進は、予想外の気温の上昇のため犬の負担を考慮して中止しました。
- (3) フリーマーケットについて

ドッグランの会員から無償提供された犬に関する物品の販売を行いました。出品数279点で、うち101点が販売されました。売上はドッグランの運営費と盲導犬協会への寄付金(売上金の10%)となります。

### 3 「しょうぶまつり」のイベント参加について

6月12日(土)、13日(日)に行われる相模原公園の「しょうぶまつり」に相模わんサポクラブが参加します(公園への参加登録者はパルス)。イベントで実施する各催し物の担当者を決めました。催し物の概要は次のようになります。

- (1) ミニドッグラン [両日の10:00～15:00 雨天中止]

フェンスで囲ったミニドッグランを仮設し、一般の方にドッグランの楽しさを体験していただきます。両日とも、既設のドッグランは閉鎖しますので、ミニドッグランが混んでいない場合は会員の方も利用できこととします。なお13日の盲導犬デモンストレーションの間は中断します。

- (2) 盲導犬デモンストレーション [13日(日)の11:30～12:10、14:00～14:40の2回]

(財)日本盲導犬協会 神奈川訓練センター様のご協力により、盲導犬のユーザーをふくめスタッフ3名で実施します。盲導犬は2頭が参加します。日本盲導犬協会は、チャリティ物品の販売を

行いたいとのことですので、フリーマーケット担当の会員が、盲導犬協会の物品の販売を手伝うことになりました。また盲導犬のユーザーをTBSが取材に来る予定です。なお盲導犬のデモンストレーションに対して、クラブの会計から寄付金として2万5千円を支出するほか、盲導犬協会のスタッフには、昼食を用意することとしました。

(3) わんわん大行進 [12日(土) 13:30~14:00 猛暑・雨天中止]

愛犬と公園内を集団で行進し、ドッグランの広報及びマナーの啓発などを行います。

(4) フリーマーケット [両日の10:00~15:00]

会員から無償提供された犬用グッズの販売を行います。売上はドッグランの運営経費と盲導犬育成の寄付となります。またフリーマーケットの運営マニュアル(暫定版)を担当者が作成しましたので、フリーマーケットに参加する会員は目を通しておいってください。

(5) 犬用クッキーの販売 [両日の10:00~15:00]

会員が手分けして焼き上げた犬用クッキーの販売を1袋200円で行います。売上は盲導犬協会への寄付となります。クッキーを作製してもらえるボランティアを募ったところ、8名が参加してくれることになりました。

(6) 盲導犬協会募金 [12(土) 10:00~15:00]

(財)日本盲導犬協会の募金箱を設置して、ミニドッグランやフリーマーケットの利用者に寄付をお願いします。なお13日は盲導犬協会側の寄付や物品販売に専念するため行いません。

(7) ボランティアの集合時間及び解散時間

6月12日(土) 集合は午前9時頃に公園研修室前で、解散予定は16時頃

6月13日(日) 集合は午前9時半頃にイベント会場テント前、解散予定は16時半頃

(8) その他

外部や重大事故への対応はパルス理事長が担当します。イベント全体の基本的な進行に関しては、相模わんサポクラブ会長が担当し、副会長はそのサポートを行います。今回のイベントでは、犬と人との共生、盲導犬などの育成への理解を深めていただくため、楽しいイベントにしたいと考えています。なお、今回のミーティングでイベントに協力を申し出た会員には、ドッグランの運営費から弁当代の一部を補てんすることになりました。

#### 4 ランの芝生について

現在ラン内の一部を耕して、グリーンフェンスで囲いをしていますが、そこに、会員の有志が日陰に強い芝の種(ケヤキの日陰になる場所なので)を播いて、生育実験を行う予定です。芝の種の手当てについては、公園管理事務所を通してサカタのタネにお願いしています。

#### 5 ラン閉場日にランを利用させてほしいとの要求について

会員以外の方から公園に対して、ランの閉場日にランを利用させて欲しいという強い要求がありました。この要望に対して、わんサポクラブがどのように対応したらよいかについて意見交換を行いました。

(1) 要求者側(4名)の現状のドッグラン運営への不満・主張について [会長が又聞きを整理したもの]

○ 公の施設にもかかわらず週に3日しか利用せず、残りの4日間が無駄になっている。

○ 現状のドッグランを利用するにはハードルが高すぎて、利用したくても利用できない人がいる。

- \* 当番の義務（当番が嫌な人は8割くらいいるのでは）
- \* 混合ワクチン接種義務（高額なので高齢者など接種できない家庭もある。また今時伝染病など考えられない）
- \* 利用ルールが厳しい（登録しても使っていない人がほとんどで、わずかの特定の20～30人のための施設になっている）

(2) 要求者が提示したドッグラン運営に対する要望 [会長が又聞きを整理したもの]

- ドッグランの開放について意見があったことを、県に上げて欲しい。
- 施設を有効利用するために県は場所だけを提供して、年中開放型のドッグランにして欲しい。
- それが現状で無理な場合、パルスが運営していない月曜・火曜・木曜・金曜の週4日間については、自主管理のドッグランとして、会員以外に開放することを提案したい。これは、**公の施設に対する我々の当然の権利だと考えている。**
- 自主運営の場合、厳しい規則を作らなくても、使う人がそれぞれ注意しあうため、違反者は必然的に使えなくなる。だから自主管理できちんとできるはずだ。**迷惑はかけないし、責任は持つ。**
- 以上の提案に対して、具体的な回答をいただきたい。

(3) これまでの対応について

- 5月20日(木)13時～14時に、神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター・石倉副技幹、相模原公園・山本園長・篠崎副園長・小野沢副園長、パルス藤田理事長、相模わんサポクラブ戸部会長が本件について意見交換を行う。
- 要求者には、県・公園側から、ドッグランの運営については、様々な観点から検討した結果、現状の運営方式に決定したものであり、当面運営方式を変えることはできない旨を説明。しかし要求者は納得せず。
- 戸部会長から、ドッグランの運営当事者である「わんサポクラブ」も要求者の要望を直接聞かせてもらう必要があるので、ミーティングに出席してもらえないかと公園側を通じて要求者に要請。
- 上記の要望に対して、一旦は6月6日のミーティングに出席すると回答を得ていたものの、その後クラブの代表者数名との話し合いに変えて欲しいとのこと。現在要求者との会合の日程を、県・公園側に要請中。

以上の状況説明が戸部会長からミーティング出席者にあり、この件についてどのように考えるか自由な意見交換を行いました。以下は、ミーティングの出席者からの意見のまとめたものです。

- ※ 昨年4月～11月のランの利用者をまとめたところ、この間に月に1回でもランを利用した会員は350世帯にのぼっている。要求者の言う20～30数名だけで利用という主張とは食い違いがあり、誤解している面があるのではないか。
- ※ 公園側がドッグランの運営方針に変更はないと説明しているにもかかわらず、要求者側が納得をしないのは、要求者側は公園が公の施設であることに対する甘えがあるのではないか。
- ※ 現状の当番制度はハードルが高くてできないと言っているのに、自主管理で鍵開けができるのか。
- ※ 犬を飼うということは、飼い犬についての費用負担が前提であるのに、ワクチン代が高いから払えないという要求は筋が通らないのではないか。
- ※ 狂犬病やワクチン接種をしていない人が犬を飼っていること自体、要求者のモラルに問題がある。

- ※ 公園側もドッグランを開設するにあたり、様々の運営形態を模索した結果、パルスに運営を委託することになった。公園側もこの運営方針を変更する予定がないのに、この議論はかみ合わないのではないか。
- ※ 登録会員のボランティアで管理運営をすべて行っていることを、要求者側は知らないのではないか。要求者側にこの点についてよく説明をして、納得してもらおうべき。
- ※ 要求者側との話し合いの接点を見つけるのが難しいのではないか。
- ※ 現在相模原公園のドッグランの運営はうまくいっているので、このままにしておいてほしい。要求者側は県や相模原市と相談して、自分たちが望む自主管理のドッグランを別の場所に新たに作ってもらってはどうか。
- ※ 残りの4日間を閉鎖しているのは、現状の3日間でも当番を埋めるのが難しいからで、残りを無駄にしようと思って閉鎖しているわけではない。閉鎖している4日間について、要求者側が当番を引き受けてくれれば開場できることを説明してはどうか。
- ※ 自主管理をすと言っているが、どんな管理をするのか具体的な提案がない。施設の利用に関して、どのような責任を取るのか。要求者と同じランを使うことに、清掃や施設の管理の面で不安がある。
- ※ 要求者に現在のドッグランの会員になってもらうよう、説得したらどうか。
- ※ 今後も、**こういった、ドッグランの現在の運営方法に不満を持つグループが**、ランの開放を要求してくることも考えられる。話し合いの中で要求者側に納得してもらった上で、断る方法を検討していたらどうか。

以上のような意見が、出席者から出されましたが、引き続き来月のミーティングでも、この件について意見交換する予定です。上記の意見以外の別の考え方をお持ちの方は、ぜひ、次回のミーティングに出席して発言くださるようお願いいたします。

[補遺 本議事録編集中、津久井治水センターの石倉氏から連絡があり、要求者側と相模わんサポクラブ会長ほかとの対話が、6月24日(木)の午後に行われることになりました一会長より]

**ミーティングに参加された方には、駐車料金の返金の特典があります！**

**次回のミーティングは 平成 22年7月4日(日)**

**午前 10時～午前 12時**

**より快適なドッグランの実現のため、ぜひご参加ください**